

第1回 SJAC講演会を開催

去る令和4年（2022年）7月5日（火）、法務省 公安調査庁 調査第二部第一課 経済安全保障特別調査室より情報分析官を講師としてお招きし、令和4年度第1回SJAC講演会を対面形式にて実施した。

1. 講演会開催の背景

国際社会においては、経済活動を武器とした国家安全保障上の課題への対応が重要となってきた。各国が自国の優位性を確保するために機微な技術・データ・製品等の獲得に向けた動きを活発化させる中、国際ルールを遵守しない国や機関が、適正な経済活動を装って標的となる企業や大学等に接近し、情報を奪取する事案等も多数発生している。また、先端技術のデュアルユース化により、技術の適用先が軍用なのか民用なのかという境界が曖昧になり、相手国による軍事転用を防止することがより困難となっている。

日本政府としても、経済安全保障政策を成長戦略の柱の1つに位置付け、政権の最重要政策として取り組んでいるが、SJAC会員企業は航空・宇宙・防衛分野を担う重要な会社ばかりであり、国際ルールを遵守しない国や機関側から見ると垂涎の的であることは疑いようがない。

各社ともサイバー空間では以前から激しい攻撃を受けており既に実害も多数報道されているが、脅威はサイバー空間だけに止まらず、社員の日常の生活空間にも忍び寄っている。

SJACでは、このような国際ルールを遵守しない国や機関による民間企業および社員個人に対する接触や情報流出の実例を紹介することにより、警戒心を更に高めていただき、企業利益の保護だけでなく国家安全保障に寄与すべく、経済安全保障に関する講演会

を企画した。

2. 講演の概要

公安調査庁および関東公安調査局にご協力をいただき、「経済安全保障の確保について」との演題で対面式の講演会を開催した。

講演内容には、機微情報が含まれるため厳格な管理の下で行われた。

講演では、我が国を取り巻く現状、特に米中対立とロシアによるウクライナ侵略の影響、中国の国家戦略、懸念主体のアプローチ手法、流出経路（投資・買収、不正調達、留学生・研究者の送り込み、共同研究・共同事業、人材リクルート、諜報活動、サイバー攻撃）に関する実例などが紹介された。

講演に関連する参考資料は、公安調査庁のホームページ（経済安全保障特集ページ；<https://www.moj.go.jp/psia/keizaiampo.top.html>）にて公開されているので、今回参加できなかった会員企業の方々にも、御一読されることをお勧めする。

なお、外国からの諜報（スパイ）活動は、決して映画や小説の中の話ではなく、政府要人や軍関係者だけが注意すべきものでもない。一般社員がいつターゲットにされても不思議ではないため、仕事上でもプライベートでも、『違和感』を感じたら直ちに会社や関係省庁、公安調査庁等に相談することが重要とのことである。

3. おわりに

新型コロナ感染拡大の影響を受け、講演会の実施スケジュールを何度も変更せざるを得

ない状況の中、開催にご尽力頂きました公安調査庁および関東公安調査局の担当官の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。



講演会全景



公安調査庁の配布パンフレットより

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 技術部 部長 原野 清隆〕